

株式会社愛媛 CATV
第 33 回番組審議会 議事概要

第 33 回番組審議会は、2022 年 7 月 26 日（火）、株式会社愛媛 CATV5 階会議室において、6 名の審議委員が出席し開催。審議会では、小林会長の進行のもと「CATV 番組・最近の取り組み」についてと、諮問番組「松山市議選・参院選特別番組」と「たうん広場（たうんニュース・たうん掲示板）」を視聴し、それらに関する審議を行った。

■出席委員

会長 小林 真也（愛媛大学大学院 理工学研究科 教授）
委員 薬師神 権祐（星企画株式会社 代表取締役社長）
委員 高瀬 浩二（愛媛県 企画振興部 デジタル戦略局 デジタルシフト推進課長）
委員 片上 裕治（株式会社テレビ愛媛 編成局長）
委員 午頭 啓子（松山市在住 CATV 加入者）
委員 渡邊 洋心（えひめ学生起業塾 塾長）

■諮問番組

「松山市議選・参院選特別番組」と「たうん広場（たうんニュース・たうん掲示板）」

■主な発言

①「CATV 番組・最近の取り組み」について

- ・知事コロナ会見の中継を通して、県職員の情報発信リテラシーが向上した。
- ・番組のデジタルアーカイブを整備してほしい。誕生日の出来事などが見られるといいのではないか。行政や外部機関と連携すれば、郷土資料として地域の財産にもなると思う。
- ・おしらせチャンネルの BGM で FM 放送をよく聴いている。企業間連携の良い取り組みだと思う。
- ・知り合いが出ている番組はよく見ている。同級生などの近況も知る事が出来て嬉しかった。

②諮問番組「松山市議選・参院選特別番組、たうん広場（ニュース・掲示板）」について

- ・40 人ものスタッフを投入して、当選した市議全員の声を放送したことはすごい。当選直後のリアルな様子を見ることが出来た。
- ・スマホという身近な機器で制作出来る技術力の高さに感心した。どんどん活用して欲しい。
- ・参院選は会場の様子をくまなく見せるという狙いに沿って制作されていたと思う。
- ・尺の自由度があり、内容を分かりやすく説明され、多くの人が画面に映るメリットを感じた。
- ・子供たちなど地元住民が積極的に関わられる形がいい。番組制作を通じた地域の活性化も期待出来るのではないか。
- ・メジャーなネタばかりでない、ニッチな情報を伝えることが CATV の価値だと思う。SNS 等も織り交ぜてより積極的に発信してほしい。
- ・今回ニュースで取り上げていた地区の場所を知らなかった。地図などで示すとより分かりやすかったのでは。エリアごとや年代ごとにアーカイブで見ることが出来れば嬉しい。

以上、これらのいただいたご意見を今後の制作に役立てることをお伝えした上で、引き続き愛媛 CATV の番組をご覧いただき、気になったこと等あれば何なりとご指摘いただくようお願いをし、番組審議会を終了した。

以上